

平成28年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年1月8日

上場会社名 株式会社 ウッドフレンズ 上場取引所 東
 コード番号 8886 URL <http://www.woodfriends.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 前田 和彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 伊藤 嘉浩 TEL 052-249-3504
 四半期報告書提出予定日 平成28年1月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年5月期第2四半期の連結業績（平成27年6月1日～平成27年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年5月期第2四半期	13,124	△6.9	222	527.5	111	—	46	—
27年5月期第2四半期	14,101	△2.8	35	△93.6	△97	—	△117	—

(注) 包括利益 28年5月期第2四半期 66百万円 (—%) 27年5月期第2四半期 △90百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年5月期第2四半期	31.38	—
27年5月期第2四半期	△80.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年5月期第2四半期	19,413	4,643	22.8	3,014.11
27年5月期	18,545	4,576	23.6	2,982.55

(参考) 自己資本 28年5月期第2四半期 4,422百万円 27年5月期 4,375百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年5月期	—	0.00	—	—	—
28年5月期(予想)	—	—	—	90.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年5月期の連結業績予想（平成27年6月1日～平成28年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,170	13.6	1,040	—	690	—	530	—	361.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、【添付資料】P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年5月期2Q	1,480,000株	27年5月期	1,480,000株
② 期末自己株式数	28年5月期2Q	12,800株	27年5月期	12,800株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年5月期2Q	1,467,200株	27年5月期2Q	1,467,200株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等について)

現時点で得られた情報に基づき算定しておりますが、多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は業況の変化などにより業績予想と大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における東海地域の経済は、新興国経済の先行き不透明感を抱えながらも着実に回復を続けており、輸出は海外経済が緩やかに回復する下で緩やかに増加し、設備投資は大幅に増加しました。また個人消費は、雇用・所得環境が改善する中、持ち直してきました。

当地域の不動産業界においては、名古屋圏の都市部を中心として商業地・住宅地ともに地価上昇が続いております。消費税率引き上げにより需要が大幅に低下した住宅市場では、貸家の着工数が増加したことを主因として住宅投資は持ち直してきましたが、戸建住宅におきましては、省エネ住宅ポイント制度の新設や住宅取得関連税制の優遇等の支援策に下支えされながらも、需要の本格的な回復には至りませんでした。

このような状況下、当グループの主力事業である分譲住宅事業では、長期化した在庫の処理を進める一方で、事業工期短縮とコストダウンを最重要課題に位置づけ、そのための部門横断的な取り組みを強化しました。また、集材材製造・プレカット加工を行う岐阜工場を中心とした建設資材事業では、オリジナル建材の開発を行うとともに、多能工化により塗装工程やパネル生産の内製化に着手しました。

セグメントの業績を示すと次のとおりです。

① 住宅事業

戸建分譲住宅の開発・販売を主力事業とし、住宅建設資材の製造・販売も行っております。前年同期と比べ、新発売した分譲住宅戸数と集材材の販売量が減少したこと等により、売上高は11,106百万円(前年同期比11.5%減)、セグメント利益は62百万円(前年同期比37.2%増)となりました。

② AM事業

ゴルフ場並びに公共施設の運営管理及び施設管理を行っており、業績は概ね計画どおり進捗しました。売上高は802百万円(前年同期比2.5%減)、セグメント利益は207百万円(前年同期比0.0%減)となりました。

③ その他の事業

収益型不動産の運営及び生活関連サービスの提供等を行っております。第1四半期に保有していた収益型不動産の売却を行いました。第2四半期に予定していた案件が第3四半期に延期されました。売上高は1,269百万円(前年同期比61.0%増)、セグメント利益は212百万円(前年同期比429.6%増)となりました。

以上の結果により、当第2四半期連結累計売上高は13,124百万円(前年同期比6.9%減)、営業利益は222百万円(前年同期比527.5%増)、経常利益は111百万円(前年同期は97百万円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純利益は46百万円(前年同期は117百万円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

a 資産

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、有形固定資産が減少したものの、たな卸資産の増加を主な要因として、前連結会計年度と比較し868百万円増加し、19,413百万円となりました。

b 負債

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、たな卸資産の取得に伴う借入金の増加を主な要因として、前連結会計年度と比較し801百万円増加し、14,770百万円となりました。

c 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、利益剰余金の増加を主な要因として、前連結会計年度と比較し66百万円増加し、4,643百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が111百万円(前年同期は97百万円の損失)であったこと等により、44百万円の収入(前年同期比98.6%減)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得等により、40百万円の支出(前年同期比61.7%減)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の増加による収入等により、575百万円の収入(前年同期は3,528百万円の支出)となりました。

以上の結果により、現金及び現金同等物は578百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末残高は3,374百万円(前年同期比79.9%増)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年7月10日付の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

a 定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して計上する方法によっております。

b 繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等及び一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を第1四半期会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,812,647	3,395,331
完成工事未収入金	12,765	39,188
売掛金	440,269	386,440
販売用不動産	6,002,124	6,006,091
仕掛販売用不動産	3,944,770	5,037,739
未成工事支出金	872,271	1,245,995
商品及び製品	328,501	327,359
仕掛品	45,257	37,166
原材料	360,955	211,874
その他	695,412	484,403
流動資産合計	15,514,976	17,171,591
固定資産		
有形固定資産	2,594,548	1,828,489
無形固定資産	149,136	134,633
投資その他の資産	286,379	278,739
固定資産合計	3,030,064	2,241,862
資産合計	18,545,040	19,413,453
負債の部		
流動負債		
工事未払金	983,299	1,376,686
買掛金	205,900	299,734
1年内償還予定の社債	369,000	129,000
短期借入金	4,836,499	6,461,389
1年内返済予定の長期借入金	2,473,715	1,483,382
未払法人税等	121,393	60,917
賞与引当金	67,255	2,449
完成工事補償引当金	181,820	159,814
その他	760,102	704,284
流動負債合計	9,998,987	10,677,659
固定負債		
社債	188,000	123,500
長期借入金	2,626,847	2,921,806
退職給付に係る負債	638	633
役員退職慰労引当金	123,300	126,546
資産除去債務	15,762	15,783
その他	1,014,884	904,252
固定負債合計	3,969,432	4,092,521
負債合計	13,968,420	14,770,180

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	279,125	279,125
資本剰余金	279,908	279,908
利益剰余金	3,835,758	3,881,802
自己株式	△20,879	△20,879
株主資本合計	4,373,911	4,419,955
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,081	2,352
その他の包括利益累計額合計	2,081	2,352
非支配株主持分	200,627	220,964
純資産合計	4,576,620	4,643,272
負債純資産合計	18,545,040	19,413,453

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年11月30日)
売上高	14,101,509	13,124,662
売上原価	12,624,296	11,509,969
売上総利益	1,477,213	1,614,693
販売費及び一般管理費	1,441,675	1,391,700
営業利益	35,537	222,992
営業外収益		
受取利息	95	130
受取手数料	9,447	9,354
違約金収入	900	—
その他	17,409	16,235
営業外収益合計	27,852	25,721
営業外費用		
支払利息	146,282	115,017
その他	14,369	22,387
営業外費用合計	160,652	137,405
経常利益又は経常損失(△)	△97,262	111,309
特別利益		
固定資産売却益	—	16
特別利益合計	—	16
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△97,262	111,325
法人税等	△6,310	44,944
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△90,952	66,381
非支配株主に帰属する四半期純利益	26,494	20,337
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△117,446	46,044

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年11月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△90,952	66,381
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	738	271
その他の包括利益合計	738	271
四半期包括利益	△90,213	66,652
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△116,708	46,315
非支配株主に係る四半期包括利益	26,494	20,337

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△97,262	111,325
減価償却費	177,180	163,504
受取利息及び受取配当金	△883	△1,099
支払利息	146,282	115,017
売上債権の増減額(△は増加)	△283,599	27,406
たな卸資産の増減額(△は増加)	4,358,820	△639,467
仕入債務の増減額(△は減少)	△813,242	474,573
その他	△106,556	22,962
小計	3,380,738	274,224
利息及び配当金の受取額	883	1,099
利息の支払額	△144,070	△122,754
法人税等の支払額	△83,504	△108,476
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,154,047	44,092
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△79,414	△26,148
無形固定資産の取得による支出	△12,200	△11,672
その他	△13,517	△2,495
投資活動によるキャッシュ・フロー	△105,132	△40,317
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	4,301,400	6,631,352
短期借入金の返済による支出	△7,705,081	△5,006,462
長期借入れによる収入	1,399,248	2,884,460
長期借入金の返済による支出	△1,578,330	△3,579,834
社債の発行による収入	228,585	—
社債の償還による支出	△87,700	△304,500
リース債務の返済による支出	△49,557	△49,652
配当金の支払額	△36,861	△154
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,528,296	575,209
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△479,381	578,984
現金及び現金同等物の期首残高	2,355,002	2,795,946
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,875,620	3,374,930

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年6月1日至平成26年11月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	住宅事業	AM事業	その他の 事業 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
売上高						
外部顧客への売上高	12,549,310	823,114	729,084	14,101,509	—	14,101,509
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	59,385	59,385	△59,385	—
計	12,549,310	823,114	788,469	14,160,895	△59,385	14,101,509
セグメント利益	45,774	207,641	40,146	293,563	△258,025	35,537

(注)1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、収益不動産の開発・賃貸運営、生活関連ビジネス等を行っております。

2 セグメント利益の調整額△258,025千円には、セグメント間取引消去6,842千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△264,868千円が含まれています。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年6月1日至平成27年11月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	住宅事業	AM事業	その他の 事業 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
売上高						
外部顧客への売上高	11,104,818	801,663	1,218,180	13,124,662	—	13,124,662
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,161	1,170	51,359	54,691	△54,691	—
計	11,106,979	802,833	1,269,540	13,179,353	△54,691	13,124,662
セグメント利益	62,788	207,567	212,612	482,968	△259,975	222,992

(注)1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、収益不動産の開発・賃貸運営、生活関連ビジネス等を行っております。

2 セグメント利益の調整額△259,975千円には、セグメント間取引消去10,438千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△270,413千円が含まれています。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。